|  |  |
| --- | --- |
| ×整理番 号 |  |
| ×受理年月日 | 年 | 月 | 日 |

液化石油ガス設備工事届書

年　　月　　日

　南信州広域連合長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名又は名称及び

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人にあっては

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　その代表者の氏名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　　　　所

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の３の規定により、次のとおり届け出ます。

|  |  |
| --- | --- |
| 工事に係る供給設備又は消費設備の所在地 |  |
| 当該設備の所有者又は占有者の氏名又は名称 |  |
| 当　該　設　備　の　使　用　目　的 |  |
| 貯　蔵　設　備　の　貯　蔵　能　力 |  |
| 工　　　事　　　の　　　内　　　容 |  |

（備考）１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

２　×印の項は記載しないこと。

設　備　工　事　の　内　容　等

|  |  |
| --- | --- |
| 工事の種類 |  |
| 工事従事者氏　　　名 | 氏　　名 | 設備士免状番号 | 氏　　名 | 設備士免状番号 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 完成検査 実施者名 |  |
| 気密試験結果 | 供給管等内容積 | 圧　　力 | 気密試験保持時間 |
| ㍑　　 | kPa　　 | 分　　 |
| 貯　蔵　設　備 | 火気の種類及び距離 | 種　類 |  | 距　離 | ｍ　 |
| 腐食防止措置 | 有　・　無 |
| 転落、転倒防止措置 | 鎖　・　ロープ　・　その他（ ） |
| ４０℃以下対策 | 屋根　・　遮へい板　・　その他（ ） |
| 調整器メーカー・型式 |  |
| 供 給管 | 高圧部　材質 |  |
| 中圧部　材質 |  |
| 低圧部　材質 | 埋設管 |  | 露出管 |  |
| 気　化　装　置 | 有・無 | ガス発生能力 | 　　　　　　　　　　　　　　kW |
| 安　全　装　置 | １ |  |
| ２ |  |
| ３ |  |
| ４ |  |
| ５ |  |
| ６ |  |

供 給 設 備 の 技 術 上 の 基 準

|  |  |
| --- | --- |
| １．保安距離 | ①第１種保安距離（法定 ｍ・障壁設置 ｍ）実際距離 ｍ保安物件の名称②第２種保安距離（法定 ｍ・障壁設置 ｍ）実際距離 ｍ保安物件の名称 |
| ２．障壁 | ①障壁の構造 材料 寸法（高さ） cm（厚さ） cm②扉の構造 材料 （厚さ） cm③扉の補強 等辺山形鋼 (枠) mm× mm (内) mm× mm間隔（縦）　　　cm（横）　　　cm |
| ３．火気等との距離 | ①火気等の種類 火気等との距離 ｍ②火気距離 障壁（材料） 高さ ｍ |
| ４．滞留防止 | ①貯蔵設備面積 ㎡ 法定換気口面積 cm２②実際の換気口面積 cm２ |
| ５．さく、へい等の設置 | さく、へい等の種類 |
| ６．警戒標 | ①掲示位置②表示内容 |
| ７．消火設備 | ①粉末消火器②その他 |
| ８．軽量な屋根等 | ①屋根の場合 その材料②遮へい板の場合 その材料 |
| ９．転倒防止等の措置 |  |
| 10．腐食防止措置 |  |

バ ル ク 供 給 設 備 の 技 術 上 の 基 準

|  |  |
| --- | --- |
| １．貯槽の設備状況 |  |
| ２．貯槽の適合性 |  |
| ３．保安距離 | ①第１種保安距離（法定 ｍ 構造壁等又は埋設設置 ｍ）実際距離　　　　　ｍ　保安物件の名称②第２種保安距離（法定 ｍ 構造壁等又は埋設設置 ｍ）実際距離　　　　　ｍ　保安物件の名称 |
| ４．構造壁等 | 壁の構造 材料 寸法（高さ） ｍ（幅） ｍ |
| ５．貯槽の表示 |  |
| ６．腐食防止措置 |  |
| ７．転倒防止等の措置 |  |
| ８．プロテクター内　のガス漏れ検知器の設置等 |  |
| ９．火気等との距離 | ①火気等の種類 火気等との距離 ｍ②火気距離が２ｍ以内 防火壁等の設置の有無 |